

---

# メロディ構築術

## 作曲技法

---



# 第1回 作曲演習・メロディ構築術概論

## 音楽の構成要素とメロディ

### 音楽の3大要素

Rhythm

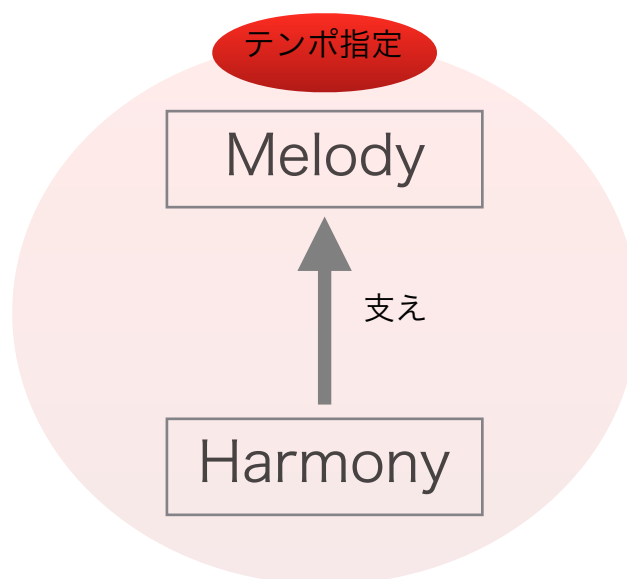
Melody

Harmony

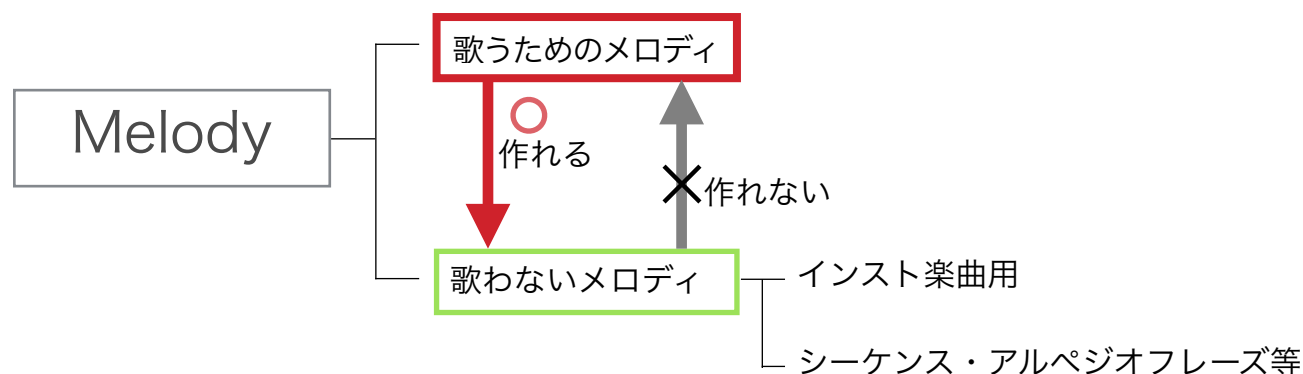
Rhythm(リズム)	拍子・ビート	一定周期、またはパターンの音	<b>最重要要素</b>
Melody(旋律)		音の高低・長短の変化の連続した流れ	
Harmony(和声)		複数の高さの音が重なり合いながら変化し、進行していく	

### 作曲の定義

メロディをコードが支えるという状態を確定させること。これにテンポ指定(リズム)が加われば作曲の著作権が発生します。メロディの無い音楽の場合は著作権の定義が難しくなります。



### メロディの種類

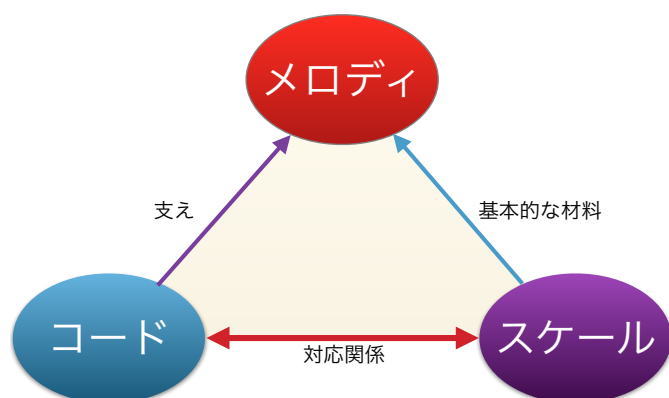


## コードとメロディの関係

メロディはコードが支えることによって独自で唯一のものとなります。メロディだけを聞いておかしくなければ必ずコードで支えることができます。そして大部分においてメロディを支えるコード進行は2種類以上存在します。コード進行を「探す」のではなく「選ぶ」スキルを身につけることが重要となってきます。



## 作曲のできる人とできない人



作曲は「メロディ」を要素に持たなければなりません。メロディは楽曲の「顔」になるところです。メロディには種類がありますが、共通したポイントで「音の高低・長短変化の連続した流れ」があります。これは「スケール」の存在を理解すればほぼ自動的に作り出すことができます。

## 「気持ちよく歌えるメロディ」の作り出せる人と出せない人

音楽の最難関は「気持ちよく歌えるメロディ」を作り出すことです。これができる人とできない人の差は何か？作り出せる人は普段から「気持ちよく歌う」ことを抵抗なく実践できている人です。特に声を出して歌うことは極めて重要で、実際に出す「声」と脳内で鳴る音をピアノ音などで確かめて一致させ、リンク付けさせることがメロディ構築への第一歩となります。

# メロディ構築最初のステップはリズムの認識！

